

令和3年度 学校教育自己診断

令和4年2月
吹田市立第二中学校
校長 由上 正幸

余寒の候、保護者の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より本校教育活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、12月に実施いたしました学校教育自己診断（アンケート）の集計結果を
まとめました。300名（79%）の保護者の方からご回答いただきました。
保護者の皆様には、ご多用の中ご協力いただきありがとうございました。

ここでは、結果の概要ならびに来年度の本校の取組みについて、ご説明をさせて
いただきたいと思います。

◇ 生徒・保護者アンケート結果

生徒アンケートより

肯定的評価の上位5項目は、「地震や火事が起こったときの対応が知らされている。」が88%、「先生はよく話を聞いてくれる。」「人に会ったとき、あいさつができています。」がともに87%、「先生は努力したことをほめてくれる。」「人権の大切さを学ぶ機会が多い」がともに86%でした。

肯定的評価の下位5項目は、「実験・観察・実習の時間がたくさんある。」が44%、「生徒会・委員会活動に積極的に参加している。」が56%、「進路の情報提供がある。」が65%、「気軽に相談できる先生がいる。」が69%、「少人数授業はわかりやすい。」が71%という結果でした。

全25項目のうち15項目で肯定的評価が8割を超え、6項目が7割台、4項目が7割未満となりました。

保護者アンケートより

肯定的評価の上位5項目は、「学校は生命の尊重や社会のルールを育てようとしている。」「学校は地震や台風時の行動マニュアルが徹底している。」「学校は教育活動において、人権を尊重して指導している。」が89%、「子どもは学校行事に積極的に参加している。」が88%、「子供に関するプライバシーが守られている。」が87%という結果でした。

肯定的評価の下位5項目は、「学校は授業を参観する機会をよく設けている。」が36%、「学校では、PTA活動が活発である。」が63%、「学校では特色ある教育活動が行われている。」が67%、「学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かに行っている。」「学校は進路に関する適切な情報提供や指導をしている。」がともに69%という結果でした。

全26項目のうち15項目で肯定的評価が8割を超え、6項目が7割台、5項目が7割未満となりました。

本校では、皆様方から頂戴しましたご意見を真摯に受け止め、子どもたちの笑顔があふれ、保護者や地域の方から信頼される学校を目指して取り組みを進めて参ります。教職員一同、力をあわせて頑張る参りますので、ご理解、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

◇ 課題に対する具体的な取組

・いじめや暴力のない学校づくり

命の大切さや人権についての意識を高め、生徒一人ひとりの尊厳が守られる安心・安全な学校生活の実現と、いじめを未然に防止するため、日常的に生徒の人間関係を把握するとともに、子どもたちが互いに繋がりを深めあう体験・経験を体得できる活動・行事などに計画的・継続的に取り組みます。

また、「すいた GRE・EN スクールプロジェクト」のもと、いじめ予防授業の実施により、いじめの起こりにくい学校風土づくりに取り組みます。

さらに、いじめや暴力行為に対しては全教職員と関係諸機関がチームを組み、組織的に指導するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒たちのケアを第一に考え、きめ細かい指導を行っていきます。

・人権教育の推進

総合・道徳・特別活動および各教科の連携をさらに図るとともに、第二中学校ブロックの小中9年間を通した一人一人のキャリア形成と自己実現を行うためキャリアパスポートを活用する。また、体験学習を実施し、さまざまな立場の人々との交流などを通して「多様で幅広い他者」と積極的に人間関係を持ち、自尊感情、共生意識や他者への思いやりの心を育むことができる学習の展開に努めます。

・魅力ある授業づくり

基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と主体的に学ぶ姿勢の育成をめざします。授業においては、一人一台端末を活用し自ら課題を発見し解決していくことに取り組む授業のあり方を追求しています。実験・観察・実習などでは実物に触れたり、映像を見せたりすることで、興味・感心を引き出していきます。英語、数学においては習熟度別少人数指導の充実を図り、きめの細かい指導を充実させていきます。自分の考えをまとめ発表し、交流していく「学びあい」を活かして、深い学びにつながる授業を展開するための授業研究に取り組むなど、さらなる授業改善に注力します。

・《学びあう・支えあう・思いやりのある集団に》

～伝える力を伸ばそう～

学校スローガンより

子どもたちが相互に繋がりを深めていけるような活動、取組み、行事などを通して、集団としての一体感・充実感を得られる経験を積み上げることを通して、子どもたちの“共に生きる力”“伝える力～コミュニケーション力”の育成をめざします。

また、生徒会活動の一層の活生化を図り、子どもたちが自らの義務を果たしながら意見を述べ、学校生活を改善していけるよう支援していきます。

・教育環境の充実

令和2年度に教室棟のトイレリニューアル工事、令和3年度に特別教室の空調設備工事・トイレの自動水栓・プール更衣室等の防水工事が実施されました。また、文部科学省が進めるGIGAスクール構想の実現のため、吹田市から生徒1人1台のWindowsタブレットPCが配備され、普通教室の無線LANアクセスポイントが増設されました。吹田市では、生徒たちが社会に出た時のことを考え、一般的に使われているOSのWindowsを搭載したタブレットPCを中学校に配備することとなっております。

・学校情報の発信

学校だより、学年だより、学級通信、ホームページ等による情報発信のより一層の充実を図り、子どもたちの学校生活の様子や学校の教育方針・教育活動などについて、今後もお知らせしていきます。

学校教育自己診断 経年比較

《生徒アンケートより》

肯定的評価の上位 5 項目	R3	R2	R1
地震や火事が起こったときの対応が知らされている。	88%	93%	94%
人に会ったとき、あいさつができる。	87%	90%	92%
先生はよく話を聞いてくれる。	87%	89%	83%
先生は努力したことを認めてくれる。	86%	87%	78%
人権の大切さを学ぶ機会が多い。	86%	85%	86%

肯定的評価の下位 5 項目	R3	R2	R1
実験・観察・実習の時間がたくさんある。	44%	79%	71%
生徒会活動には積極的に参加している。	56%	64%	60%
進路の情報提供がある。	65%	61%	59%
気軽に相談できる先生がいる。	69%	73%	74%
少人数授業はわかりやすい。	71%	71%	75%

《保護者アンケートより》

肯定的評価の上位 5 項目	R3	R2	R1
学校は生命の尊重や社会のルールを育てようとしている。	89%	86%	86%
学校は地震や台風時の行動マニュアルが徹底している	89%	87%	87%
学校は教育活動において、人権を尊重して指導している。	89%	84%	82%
子どもは学校行事に積極的に参加している	88%	85%	90%
子どもに関するプライバシーが守られている	87%	87%	87%

肯定的評価の下位 5 項目	R2	R1	H30
学校は授業を参観する機会をよく設けている。	36%	50%	83%
学校では、PTA 活動が活発である。	63%	71%	83%
学校では特色ある教育活動が行われている。	67%	68%	74%
学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細やかに行っている。	69%	74%	80%
学校は進路に関して適切な情報提供や指導がなされている。	69%	64%	61%